

**令和 6 年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和 6 年 12 月
海老名市立海老名小学校**

令和6年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語、算数)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

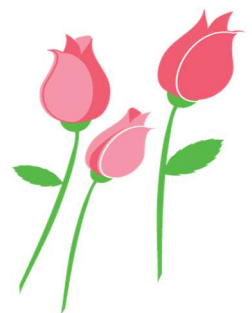
(2)生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和6年4月18日(木)

※児童生徒質問調査について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方。

◆課題のある点

- 人物像や物語の全体像を具体的に想像すること。
- 表現の効果を考えて文章にまとめること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 目的や意図に応じて、短い文章や図から情報を受け取り、理解することを得意とする一方で、自分の考えをまとめることや与えられた条件に合わせて発信することには課題が残るという傾向がみられた。このことから、日頃の学習の中で、自分の考えや学習のまとめを書く際に、キーワードを示したり、書き方の型を示したりすることで、自分の考えを文章にまとめる経験を積ませていく。また、よりよい文章や表現を模範例として示し、全体で共有することで、学びを深める。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の関係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 示された場面に合致した四則を組み合わせた式を立てたり、二つの数量の比例関係から未知の数量を求める式を立てたりして、計算処理をすること。
- 基本的な図形の概念を用いて立体体を作図したり、球体の図形の要素を用いて体積を計量したりすること。

◆課題のある点

- 複数のグラフ・表などから読み取った情報を比較する問題の無回答率が高い。粘り強く資料を分析し、題意に合う解答を検討すること。
- 場面を示す図や、複数のグラフ・表などから読み取った情報を比較し、考察したことを言葉や数を用いて説明すること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 課題解決の為に条件が明示されている数学的事象に対する計算処理・図形処理は比較的にできている一方で、複数の情報を合わせて考察したり、説明したりすることについては課題が見られた。このことから、問題解決の過程を説明したり、式・言葉・表・グラフなどの複数の情報を用いて解釈させたりする活動を通して既習の知識を応用する機会を増やすよう改善していく。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「英語の勉強は好き」「英語の勉強は大切」「英語の授業の内容はよく分かる」と答えた児童の割合が全国平均より高く、外国語・外国語活動に意欲的に取り組もうとする児童が多いことがわかる。
- 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」と答えた児童の割合が高い。友達の意見に関心をもち、考えることに前向きな児童が多いことがわかる。

◆本校の課題と思われるところ

- 国語の授業では「違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理している」「目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いている」と答えた児童の割合が少ない。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「新聞を読んでいる」と回答する児童が全国平均より高い。世の中の動きや生活に役立つ情報など社会に対して関心をもったり、新しい教養や知識を得ることに時間を費やしたりしていることがわかる。

◆本校の課題と思われるところ

- 「自分には、良いところがある」と答える児童の割合が全国平均より低い。
- 「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている」と答える割合が少ない。

今後の具体的な取組について

- 友達の意見に関心をもち、考えることに前向きな児童が多いことから、授業の中で対話的な学び合いの場を引き続き設定し、他者の価値観を認めながら学びを深め、自尊心を高めていく。
- 結果のみに焦点を当てるのではなく、そこに至る頑張りや努力の過程から、自分の良さに気づき、喜びを感じたり、自己肯定感や自己有用感を高めたりできる環境を作っていく。

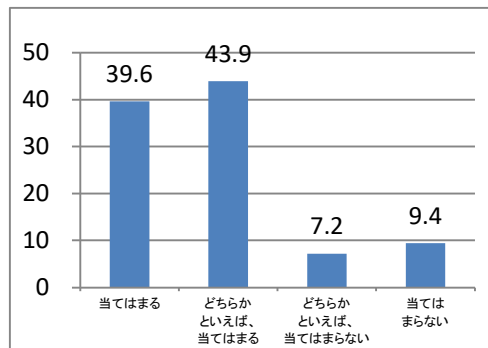
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1

子どものよいところをたくさん伝えていきましょう。

自分のよさを知り、自分を認めることは、心を強くし、自己肯定にもつながります。これからの時代をたくましく生きていく力を育むために、子どものよいところを認め、伝えていきましょう。

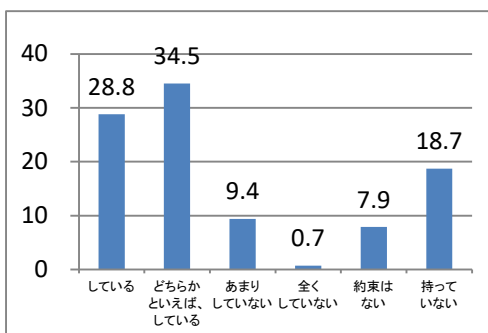


自分には、よいところがあると思いますか

2

情報利用についてのルールを家庭でも確認しましょう。

ご家庭でもインターネットを利用する機会が増えてきています。情報利用についてのルールを決めて、安全に正しく使用するようにしましょう。

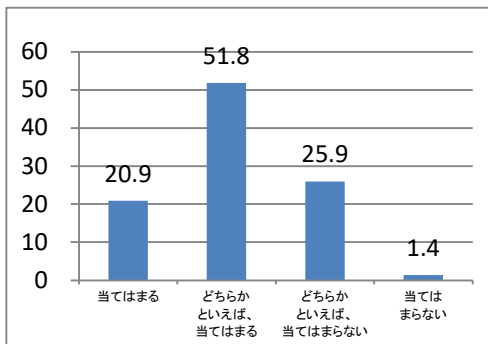


携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

3

子どもの自発的な学びを見守り、励ましましょう。

自発的な行動は、子どもの心の充実や自信となり「自ら考えて行動する力」を育みます。子どもの興味や関心のあることなど、一緒に話をしたり考えたりしましょう。

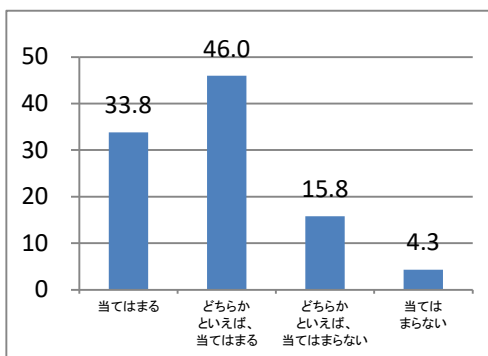


分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

4

相手の言葉を受け止め、考えや気持ちを自分の言葉で表現できるようにしましょう。

自分の言葉で適切に表現する力、相手の言葉を正しく理解する力は、これからの社会を豊かに生きる力になります。色々な人の考えにふれ、自分の考えを深めることができるようにしましょう。



自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和6年度までの調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

2. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 授業改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

3. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

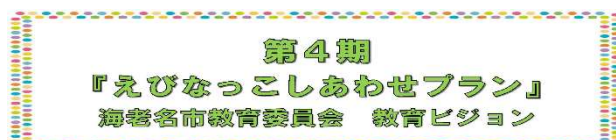
4. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 自治体・学校への伴奏支援の取組
- 学校の ICT 環境整備の推進
- 校務 DX の推進
- 学校の ICT 環境を活用した取組

5. 教師を取り巻く環境整備

- 学校の指導・運営体制の充実
- 教師の育成支援の一体的推進
- 教職員定数の改善や業務支援スタッフの充実に係る支援
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



キーワードは「**包摂性**」
誰ひとり取り残さない教育
実現をめざします



①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③みんなで取り組む学校づくりの推進

＜①授業改善の実践＞

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- こどもたちが主体的に学習に取り組むために、よりよい学習計画の在り方についての研究に取り組みます
- 「協働的な学び」の実践を重点として、授業改善の研究に取り組むとともに、「個別最適な学び」の実践も積み重ねます
- 教職員が主体的に学ぶ研修の場の充実を図ります。

【市の結果についての問い合わせ先】
 海老名市教育委員会教育支援課 指導係
 電話 046-235-4919